

全校漢字テストへの取組例（フリーソフトの活用）

小学校

全校漢字テスト（チャレンジタイム）の取組例

1 基本実施方法

毎週金曜日六校時（一年生は放課後）に二十分間の「チャレンジタイム」を設定し、全校一斉に漢字テストに取り組む（二学期からの実施）。

一枚のテストの出題数は十問とし、各学年の問題に級位を付け、進級形式で実施する。

級位判定の基準は全問正解とし、その級位が合格しない限り次の級位に進めないこととする。

2 テスト問題の準備

問題作成及び印刷には、フリーソフトを活用する。

問題は各学年の新出漢字を基本とし、国語の教科書を参考に、学級担任が作成する。

作成した問題は、共有のハードディスク内に保存し、修正等を加えながら活用する。

問題の印刷・準備は、上記のフリーソフトを活用し、学級担任が事前に行う。

3 その他

児童一人一人にチャレンジタイム用のファイルを用意し、学習の蓄積ができるようにするとともに、定期的に家庭に持ち帰らせ、家庭と連携しながら進める。（家庭の検印欄を添付する。）

担任は漢字テストの結果（合否の記録）を、全校漢字テスト記録簿に記録し、五回ごとに反省等を加える（学級ファイル）。

学校として、学級ファイルを点検し、学級及び個人の進捗状況を把握する。

漢字テストの取組の様子や進捗状況については、学力向上推進だより「つ子の学び」でも記事に取り上げ、家庭に知らせるとともに、家庭学習の充実についても働き掛ける。